

国道15号・品川駅西口駅前広場整備事業計画検討会
(第3回) 議事概要

1. 日 時 平成31年2月5日(火) 13:00～14:10

2. 場 所 東京国道事務所 第二会議室
(千代田区九段南1-2-1 九段第二合同庁舎15階)

3. 出席者

[座 長] 岸井 隆幸 (日本大学 理工学部 土木工学科 特任教授)
[委 員] 羽藤 英二 (東京大学大学院 工学系研究科 教授)
田中 佐世子 (代理出席: 阪井暖子)
(東京都都市整備局都市づくり政策部開発企画課
開発計画推進担当課長)
澤井 正明 (代理出席: 粉川大樹)
(東京都都市整備局都市基盤部街路計画課長)
村上 利雄 (港区 街づくり支援部
品川駅周辺街づくり担当課長)
五十嵐一夫 (国土交通省関東地方整備局道路計画第二課長)
井上 圭介 (国土交通省関東地方整備局東京国道事務所長)
杉山 勲 (京浜急行電鉄(株)品川開発推進室 部長)
谷井 健 (京浜急行電鉄(株)品川開発推進室 部長)
妹尾 寛仁 (株西武プロパティーズ都市開発部長)
高橋 武 (東日本旅客鉄道(株)総合企画本部
品川・大規模開発部担当部長)
(敬称略)

4. 議事

(1) 挨拶

日本大学 理工学部 土木工学科 特任教授 岸井 隆幸

(2) 審議

・「デッキの設計における荷重条件の整理」、「次世代型交通ターミナルPPP／PFIの進め方」、「国道上空デッキの事業スキーム・制度設計の検討」、「事業計画のとりまとめイメージ」、「品川駅・田町駅 まちづくりガイドライン2014」について、事務局より説明を行い、引き続き具体的内容を議論し、調整していくことを確認。

＜委員からの主な意見＞

1) デッキの設計における荷重条件の整理

- ・ デッキ上をモビリティが走行することを考慮し、今後、具体的な設計するにあたっては、荷重条件のほか走行速度も検討項目として考えるべき
- ・ 交通広場の整備に際し、デッキの荷重を民間ビルと道路の脚とで分担し受ける場合、民間ビルのどこまでの範囲を兼用工作物とするのか、民間及び道路管理者のデッキ設計段階で十分に整理すべき

2) 次世代型交通ターミナルPPP／PFIの進め方

- ・ 次世代型交通ターミナルの機能等を考える際、隣接し計画しているバス停（路線バス）、複合ターミナル（タクシー、近距離高速バス、ツアー系バス等）との連携及び連動を意識した交通結節点として考えるべき
- ・ 今後、次世代型交通ターミナルのPPP/PFI手続きを進めるにあたっては、幅広く民間がアイデアを出せるよう、事業者ヒアリングを工夫して行うべき
- ・ 賑わい広場の整備を公募し、民間事業者が整備、管理するにしても、国道15号の現道交通を確保しながら、デッキの桁、脚を管理するのは相当厳しい、現道上の不測の事態（構造物への交通の衝突等）へ備えた道路管理者の協力についても、今後の具体化に際し検討すべき

3) 国道上空デッキの事業スキーム・制度設計の検討

4) 事業計画のとりまとめイメージ

5) 「品川駅・田町駅 まちづくりガイドライン2014」について

以上